

# 2025年度 事業報告書

公益財団法人 日本ハンドボール協会

## 【2025年度 事業の概況】

2025年度、競技力向上の面では、男子はアジア選手権、女子は世界選手権に照準を合わせて強化合宿、海外遠征を実施しました。男子は2026年度開催予定の世界選手権の出場権を獲得しました。女子は、欧州3チームと同グループだった予選を3位でメインラウンドへ進出、メインラウンドでは2勝1分と13位でした。アンダーカテゴリー（ジュニア、ユース）では、男子が世界選手権、女子がアジア選手権に挑みました。男子ジュニアが16位、男子ユースが14位、いずれもアジアでは最上位でした。女子ジュニアは韓国に競り勝って大会初制覇、連覇を狙った女子ユースは準優勝でした。アンダーカテゴリーの実力は、確実に伸びてきています。

また、3年連続でパリ・サン=ジェルマンが8月に来日、国立代々木競技場 第一体育館にて男子日本代表が対戦しました。

11月に第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025が開催されました。約3年の準備期間を経て大会に臨んだデフハンドボール日本代表は、最終戦で初白星を挙げ、7位（8チーム参加）となりました。デフ代表活動に対するメディアの関心は高く、チームのみならず個々の選手に対する取材も数多くありました。

国内大会は全ての大会が予定通りに開催。日本選手権は、広島市で8年ぶりに男女同時開催しました。

日本中学校体育連盟の指針に基づき2027年度から全国中学校大会が廃止されることとなり、新しい大会のフォーマットについてプロジェクトを立ち上げて準備を進めて参りました。これに伴い、他の中学生大会、小学生大会についても見直しをする予定です。

登録競技者数（選手および選手兼役員数）は、前年度比813人減少の86,356人となりました。カテゴリー別では、社会人および大学生は増加しましたが、高校生が前年度比841人の減少、中学生クラブが前期比1,156人増加しましたが、中学校が前期比2,023人減少しました。

広報面では、前年に引き続き国内大会を中心に、インターネット配信を行い、競技の普及に努めました。高校選抜男子決勝戦が10万回再生を達成しており、引き続きインターネット配信について充実させて参ります。また、SNSを主体に情報発信を積極的に実施しました。その結果、フォロワーは20%～50%と大幅増となりました。また、春の大会（高校選抜、春中）記念誌を受注生産にて製作・販売、今後、収益化をはかって参ります。

組織運営面では、2025年6月改選でガバナンスコードに設定されている女性理事及び外部理事の比率を達成しました。また、常務理事会の機能を見直し、素早い意思決定が行えるようにしました。

以下、各本部、委員会単位で今年度の活動を振り返ります。

## 【2025年度 事業報告】

### 1. 競技力向上に関する事業（強化育成本部）

#### （目標）

1. 2028ロサンゼルスオリンピック大会出場のため、世界基準のフィジカル・技術&戦術・メンタルの向上を図る。
2. 2026年度アジア競技大会で男女ともに優勝を目指す。
3. 「2028&32 強化戦略プラン」の策定と計画的な実行を推進する。
4. 指導普及本部と連携し、将来人材（選手および指導者）の育成を推進する。
5. ジュニア世代と日本代表チームの間の活動を活性化させる。
6. 日本代表のアイデンティティを確立し、応援され、憧れられるチームを目指す。

#### （1）日本代表チームの強化

##### 1) 男子日本代表

###### ①国内強化合宿

- ・第1回 2025年6月17日～19日 @ANTC 26名参加（選手18名、スタッフ8名）
- ・第2回 8月13日～19日 @ANTC 26名参加（選手20名、スタッフ6名）
- ・第3回 9月27日～10月4日 @ANTC 27名参加（選手20名、スタッフ7名）
- ・第4回 12月27日～2026年1月6日 @ANTC 27名参加（選手20名、スタッフ7名）
- ・第5回 3月16日～22日 @ANTC 27名参加（選手20名、スタッフ7名）

※ ANTIC：味の素ナショナルトレーニングセンター（以下同じ）

###### ②海外遠征

- ・日韓定期戦 2025年6月20日～22日@韓国 22名参加（選手18名、スタッフ11名）  
〈結果〉 男子 日本代表 25●（8-15、17-12）○27 韓国代表
- ・第1回 10月27日～11月6日@北マケドニア、トルコ 24名参加（選手18名、スタッフ6名）
- ・第2回 2026年1月6日～13日@サウジアラビア 25名参加（選手18名、スタッフ7名）

###### ③パリ・サン＝ジェルマン（以下 PSG） ジャパンツアー2025（8月20日～21日@代々木第一

26名参加（選手20名、スタッフ6名）

〈結果〉 男子 日本代表 23●（9-19、14-11）○30 PSG

###### ④第22回男子アジア選手権 2026年1月15日～29日@クウェート

27名参加（選手18名、スタッフ9名）

〈結果〉 優勝：バーレーン、2位：カタール、3位：クウェート、4位：日本

##### 2) 女子日本代表

###### ①国内強化合宿

- ・第1回 2025年6月17日～19日 @ANTC 23名参加（選手18名、スタッフ5名）
- ・第2回 8月12日～17日 @ANTC 27名参加（選手20名、スタッフ7名）
- ・第3回 10月22日～29日 @ANTC 25名参加（選手18名、スタッフ7名）
- ・第4回 11月9日～15日 @ANTC 23名参加（選手18名、スタッフ5名）

###### ②海外遠征

- ・日韓定期戦 2025年6月20日～22日@韓国 23名参加（選手18名、スタッフ5名）  
〈結果〉 女子 日本代表 25●（14-17、11-12）○29 韓国代表
- ・第1回 10月12日～20日@ポルトガル 18名参加（選手13名、スタッフ5名）
- ・第2回 11月16日～25日@フランス 22名参加（選手18名、スタッフ4名）

###### ③第27回女子世界選手権 11月26日～12月16日@オランダ、ドイツ

26名参加（選手18名、スタッフ8名）

〈結果〉 優勝：ノルウェー、2位：ドイツ、3位：フランス、…13位：日本

##### 3) 男子ネクスト代表

###### ①国内強化合宿

- ・第1回 2025年5月31日～6月8日 @ANTC 28名参加（選手20名、スタッフ8名）

##### 4) 女子ネクスト代表

###### ①国内強化合宿

- ・第1回 2026年3月28日～3月31日 @ANTC 27名参加（選手22名、スタッフ5名）

## 5) 男子アンダーカテゴリー代表

### ①国内強化合宿

#### <男子U-21>

- ・第1回 2025年6月6日～9日@ANTC 26名参加（選手20名、スタッフ6名）

#### <男子U-19>

- ・第1回 6月30日～7月4日 @ANTC 33名参加（選手27名、スタッフ5名）
- ・第2回 7月8日～7月13日 @ANTC 28名参加（選手22名、スタッフ6名）
- ・第3回 7月25日～7月28日 @ANTC 24名参加（選手18名、スタッフ6名）

### ②海外遠征/国際大会

#### <男子U-21>

- ・第1回 6月10日～16日@ポーランド 28名参加（選手20名、スタッフ8名）
- ・男子ジュニア世界選手権 6月18日～29日@ポーランド  
28名参加（選手20名、スタッフ8名）

<結果> 優勝：デンマーク、2位：ポルトガル、3位：フェロー諸島、…16位：日本

#### <男子U-19>

- ・男子ユース世界選手権 8月6日～17日@エジプト 26名参加（選手18名、スタッフ8名）

<結果>優勝：ドイツ、2位：スペイン、3位：デンマーク、…14位：日本

## 6) 女子アンダーカテゴリー代表

### ①国内強化合宿

#### <女子U-20>

- ・第1回 6月25日～27日@ANTC 33名参加（選手28名、スタッフ5名）
- ・第2回 7月19日～21日@ANTC 24名参加（選手18名、スタッフ6名）
- ・第3回 8月16日～18日@ANTC 25名参加（選手18名、スタッフ7名）

#### <女子U-18>

- ・第1回 6月26日～28日@ANTC 34名参加（選手29名、スタッフ5名）
- ・第2回 7月10日～16日@ANTC 25名参加（選手18名、スタッフ7名）

### ②海外遠征/国際大会

#### <女子U-20>

- ・女子ジュニアアジア選手権 8月20日～29日@ウズベキスタン  
25名参加（選手18名、スタッフ7名）

<結果> 優勝：日本（初優勝）、2位：韓国、3位：中国

#### <女子U-18>

- ・女子ユースアジア選手権 7月18日～26日@中国 25名参加（選手18名、スタッフ7名）

<結果> 優勝：中国、2位：日本、3位：韓国

## (2) 特別指定選手制度

特別指定選手制度の制度設計を行い、大学、リーグH、関係団体等のステークホルダーに対する説明・調整を実施した。これらを踏まえ、関係者の理解と協力のもと、同制度の運用を開始する段階に至った。

## (3) 国際カレンダーの情報共有

国際ハンドボール連盟（IHF）が定める国際競技カレンダー（National Team Week 等）について、関係団体・クラブに対し内容および留意事項の情報共有を行い、代表活動と国内競技日程との円滑な調整を図った。

## (4) IHF コーチライセンス B 日本開催における運営

2025年8月25日～9月1日@ANTCで開催、日本在住のコーチ16名がIHFコーチライセンスBを取得した。

## (5) EHAA による情報・教育支援

ヨーロッパハンドボールエージェント協会（EHAA）と、日本人選手の海外移籍支援等を目的としたMOUを締結し、協働を開始した。本協定に基づき、海外挑戦に向けた情報提供・教育支援およびエージェント紹介等の連携を進めている。

## (6) 強化委員会の活動

強化委員会は、従来の人事案件中心の会議体から国際競技力向上を目的とした戦略推進組織へと役割を転換し、強化育成本部の中核として機能した。本年度は「2024&2028強化戦略プラン」に基づき、ユースからシニアまで一貫した強化体制を構築することを目的として各カテゴリー代表および関係団体と連携しながら戦略の具体化と実行に取り組んだ。

#### 1) 強化指針の策定と課題の構造化

日本代表監督およびアンダーカテゴリースタッフへのヒアリングを通じて、日本の競技力に関する課題を以下の観点で整理した。

- ・フィジカル、体格
- ・技術、精度
- ・判断力、戦術理解
- ・ディフェンスおよびゴールキーパー
- ・国際経験
- ・組織、育成環境
- ・メンタルおよび文化

これにより、日本の課題は「強度」「継続性」「体格」「国際経験」に集約されることが明確となり、強化の方向性が言語化された。また、トップレベルの指導者の知見を基に、アンダーからトップまで共通した強化指針の構築が進められた。

#### 2) 強化戦略プランの進捗管理と外部連携

JSCおよびJOCとの協働により、強化戦略プランの進捗管理とレビューを行った。各施策に優先順位を付け、実行可能なものから段階的に推進する体制を整えた。

#### 3) アスリートパスウェイの強化

発掘、育成、強化の連携強化を目的として、NTS、NTA、J-STAR等の各領域との接続を強化。また、各専門委員長をオブザーバーとして参画させることで、領域横断的な情報共有と戦略整合性の向上を図り、アスリートパスウェイの実効性を高めた。

#### 4) 競技環境および制度改革の推進

国際競技力向上の観点から、以下の構造的課題について検討した。

- ・国際カレンダーと国内カレンダーの不整合
- ・大学およびリーグHにおける試合数と競技環境
- ・育成年代におけるトレーニング環境

#### 5) 強化委員会の開催（1回/月）

強化委員会を原則として月に1回開催し、各カテゴリーにおける活動報告、強化方針の検討、ならびに選手選考および派遣に関する審議を行った。

### (7) 情報科学委員会

#### 1) ICTを活用した効果的な情報収集・集積・フィードバックのシステム構築とその推進

インターネットやSNSを用いた情報収集を行い、対戦国チームのチーム情報およびフレンドリーマッチや大陸予選などの映像を取得し、それら情報は、XPSネットワークを用いて集積を行い、チームスタッフや情報科学委員会内での情報の共有を行った。また試合時の情報フィードバックとして、ITCを用いたリアルタイムフィードバックシステムを開発し、国内外問わず、現地へ試合の統計情報などをリアルタイムで提供する活動を行った。

#### 2) 男女日本代表・アンダーカテゴリー（男子U-21・U-19、女子U-20・U-18）代表チームへのICTおよび情報収集、分析などの活動支援

①担当アナリストおよび情報分析サポートチーム、科学スタッフが強化合宿時や大会時に様々な情報（映像、生体情報、位置情報、スタッツ情報など）の収集・集積・分析を行いチームの強化活動の支援を行った。

##### ア. 男子日本代表

担当アナリストが国内強化合宿に帯同し、練習時・トレーニングマッチ時の量的・質的分析を行い、チーム力向上を目的としたスタッフ・選手のコミュニケーションを活性化させるデータの提供を行った。活動内容としては、トレーニング中の映像撮影による選手へのフィードバックや戦術の理解、個々のスキル改善等、多岐に渡り実施した。担当アナリストが帯同し、これまで同様に、チーム力向上にむけた資料作成のため練習及びトレーニングマッチ時の量的・質的分析を行った。ウェアラブルセンサ（Polar verity sense）を用いたリアルタイムでの心拍レベル可視化により、効果的なウォーミングアップ強度やトレーニング時の疲労状況についての把握も昨年度に引き続き実施した。

##### イ. 女子日本代表

担当アナリストが国内合宿に帯同し、練習時・トレーニングマッチ時の量的・質的分析を行い、チーム力向上を目的としたスタッフ・選手のコミュニケーションを活性化させるデータの提供を行った。練習及び試合（公式戦も含む）時に心拍数の管理を行い、効果的なウォーミングアップ強度の管理も行った。女子アジア選手権とこれら大会前の国内合宿に担当アナリストが参加

し、トレーニング中の映像撮影による選手へのフィードバックや戦術の理解、個々のスキル改善等などのための資料を作成しチーム力向上に貢献した。

#### ウ. アンダーカテゴリー代表チーム

男女それぞれのアンダーカテゴリーチームの国内合宿および国際大会へ担当アナリストを派遣し、チーム力向上にむけた資料作成のため練習及びトレーニングマッチ時の量的・質的分析を行った。

男子ジュニア世界選手権 2025年6月@ポーランド

女子ユース代表アジア選手権 2025年7月@中国

女子ジュニア代表アジア選手権 2025年8月@ウズベキスタン

それぞれの国際大会にて大会期間中には、日本国内から、現地の担当アナリストを、後方支援する情報分析サポートチームを機能させ、試合時にそれぞれの自宅からインターネットを通じて集まり、リアルタイムに試合を分析することで現地に情報を発信し続けた。

#### エ. 「情報分析サポートチーム

東京2020オリンピックを機に発足した情報分析サポートチーム（大会期間中にオンラインで集合し、情報的な後方支援をするアナリストグループ）を引き続き発展させた。個々の自宅からインターネットを用いて集合し、日本チームや対戦国チームの試合のライブ分析を行い、その量・質的な分析情報をリアルタイムに現地のアナリストへ提供するシステムと構築し、それらを試行した。これにより、チーム帯同する担当アナリストの負担を軽減するとともに、よりクリエイティブな活動に人的リソースを使うことにより、現場の効率化と、より高度な情報戦略活動が可能な体制を構築することができた。

#### 3) 大会テクニカルレポートの作成

代表チームの主要大会参加後、大会にて収集した情報を用いて、定性的・定量的なテクニカルレポートを作成した。

#### 4) 強化関連情報の一元管理に向けた諸活動の開始

発掘育成委員会、体力科学委員会と連携し、強化に関連する各種情報（選手情報、大会情報等）を一元管理するための仕組み構築やルール整備等を開始した。

#### (8) 体力科学委員会

体力科学委員会では、国内のジュニア優秀選手を対象としたトレーニングキャンプにおいて体力測定を実施し、各選手の体力レベルを評価するとともに、選手（および指導者・保護者など）へフィードバックを行った。本委員会からJスター（ジャパンライジングスタープロジェクト）、NTS（ナショナルトレーニングシステム）センタートレーニング、NTA（ナショナルトレーニングアカデミー）の各開催地へ委員会メンバー（測定員）を派遣し、参加選手の体力測定、データベースの作成、体力レベル表（体力基準）の整備、ならびに選手選考・評価への現場運用を行った。2017年度から継続している体力テスト測定事業は、2025年度で9年目を迎えた。

1) 基準値「体力レベル表」

表1 男子ジュニア選手の体力レベル表 (n=1588より算出)

	体力レベル	偏差値	身長cm	30m走sec.	立幅跳cm	J/H比	立投球m	イリノイ走sec.	I/S比
	U13男子	Lv.1	35	151.9	5.17	185.1	1.14	21.8	18.54
Lv.2		40	156.2	5.00	195.1	1.20	24.4	18.06	3.98
Lv.3		45	160.4	4.82	205.2	1.25	27.1	17.58	3.83
Lv.4		50	164.6	4.65	215.2	1.31	29.7	17.10	3.67
Lv.5		55	168.8	4.48	225.3	1.36	32.3	16.61	3.52
Lv.6		60	173.1	4.31	235.3	1.42	35.0	16.13	3.36
Lv.7		65	177.3	4.14	245.4	1.48	37.6	15.65	3.21
Lv.8		70	181.5	3.96	255.4	1.53	40.3	15.17	3.05
Lv.9		75	185.7	3.79	265.5	1.59	42.9	14.69	2.90
Lv.10		80	190.0	3.62	275.5	1.65	45.5	14.21	2.74
	体力レベル	偏差値	身長cm	30m走sec.	立幅跳cm	J/H比	立投球m	イリノイ走sec.	I/S比
	U16男子	Lv.1	35	168.8	4.65	212.0	1.18	28.3	17.67
Lv.2		40	171.6	4.54	221.1	1.24	30.9	17.24	4.00
Lv.3		45	174.4	4.42	230.2	1.30	33.6	16.81	3.90
Lv.4		50	177.2	4.31	239.2	1.35	36.2	16.38	3.81
Lv.5		55	180.0	4.19	248.3	1.41	38.8	15.95	3.71
Lv.6		60	182.8	4.08	257.4	1.46	41.4	15.53	3.62
Lv.7		65	185.7	3.96	266.5	1.52	44.0	15.10	3.52
Lv.8		70	188.5	3.85	275.5	1.58	46.6	14.67	3.43
Lv.9		75	191.3	3.73	284.6	1.63	49.3	14.24	3.33
Lv.10		80	194.1	3.61	293.7	1.69	51.9	13.81	3.23

表2 女子ジュニア選手の体力レベル表 (n=1494より算出)

	体力レベル	偏差値	身長cm	30m走sec.	立幅跳cm	J/H比	立投球m	イリノイ走sec.	I/S比
	U13女子	Lv.1	35	150.1	5.37	172.3	1.09	17.2	19.38
Lv.2		40	152.9	5.22	179.4	1.13	18.9	18.94	3.85
Lv.3		45	155.7	5.07	186.6	1.18	20.6	18.50	3.77
Lv.4		50	158.5	4.91	193.7	1.22	22.3	18.06	3.68
Lv.5		55	161.3	4.76	200.8	1.27	24.0	17.62	3.60
Lv.6		60	164.1	4.61	208.0	1.31	25.7	17.17	3.51
Lv.7		65	166.9	4.46	215.1	1.36	27.4	16.73	3.43
Lv.8		70	169.7	4.30	222.2	1.40	29.1	16.29	3.34
Lv.9		75	172.5	4.15	229.4	1.45	30.9	15.85	3.26
Lv.10		80	175.3	4.00	236.5	1.49	32.6	15.41	3.17
	体力レベル	偏差値	身長cm	30m走sec.	立幅跳cm	J/H比	立投球m	イリノイ走sec.	I/S比
	U16女子	Lv.1	35	155.0	5.32	168.8	1.03	19.5	19.43
Lv.2		40	157.7	5.15	178.2	1.09	21.4	18.89	3.90
Lv.3		45	160.4	4.99	187.5	1.15	23.2	18.35	3.80
Lv.4		50	163.1	4.82	196.9	1.21	25.1	17.81	3.70
Lv.5		55	165.8	4.66	206.2	1.27	27.0	17.27	3.60
Lv.6		60	168.5	4.49	215.6	1.33	28.9	16.73	3.50
Lv.7		65	171.3	4.33	224.9	1.39	30.7	16.20	3.40
Lv.8		70	174.0	4.16	234.3	1.45	32.6	15.66	3.29
Lv.9		75	176.7	3.99	243.6	1.51	34.5	15.12	3.19
Lv.10		80	179.4	3.83	253.0	1.56	36.4	14.58	3.09

注) J/H比:身長に対する立幅跳の比、I/S比:30m直線走に対する60mイリノイ走の比

表1・2に示した体力レベル表は、2017年度から2022年度までにNTSブロックトレーニングおよびチャレンジトレーニングに参加したジュニア選手の体力測定結果に基づいて作成した基準表である。同トレーニングに参加した年代別優秀選手の体力値の平均が「レベル4(偏差値50)」に相当する。測定項目は、U13選手にも安全かつ簡便に実施でき、大型機器を用いずに現場で測定可能な走・跳・投・アジリティ(身のこなし)で構成されている。本レベル表は、各選手の目標設定、選手選考、体力レベルを示す根拠資料(対外用提出データ)として活用されている。

2) NTSセンタートレーニングおよびNTA選出選手の体力

本委員会では、これまで指導・育成・普及委員会のNTS・NTA担当者と連携し、NTS全国ブロック・チャレンジトレーニング、NTSセンタートレーニング、NTAトレーニングにおいて体力測定会を実施してきた。本事業は、本委員会の中心的な実地事業である。2025年度は、すべてのNTSセンタートレーニング(男子n=35、女子n=35)およびNTAトレーニング(男子n=44、女子n=35)において体力測定を実施した。選手選考では、本委員会が2017年度から2022年度までの蓄積データに基づい

て作成した体力レベル表が活用された。

表3 2025年度 NTS センタートレーニングおよび NTA に選出された U-16 選手の体力値  
(CP：コートプレイヤー)

	身長 cm	30m走 sec.	立幅跳 cm	J/H比	立位投球 m	イリノイ走 sec.	I/S比	n
NTS CTr 25_CP女子	160.9 ± 5.7	4.69 ± 0.17	202 ± 10	1.26 ± 0.06	28.2 ± 3.2	17.09 ± 0.53	3.65 ± 0.11	30
NTS CTr 25_CP男子	176.7 ± 5.8	4.20 ± 0.15	247 ± 12	1.40 ± 0.08	42.2 ± 3.5	15.98 ± 0.49	3.81 ± 0.15	30
NTA 25 U16_CP女子	163.8 ± 6.1	4.70 ± 0.21	211 ± 14	1.29 ± 0.09	29.5 ± 3.2	16.99 ± 0.63	3.62 ± 0.13	28
NTA 25 U16_CP男子	177.5 ± 4.8	4.22 ± 0.18	247 ± 13	1.39 ± 0.08	39.6 ± 4.1	16.00 ± 0.52	3.79 ± 0.12	35

(GK：ゴールキーパー)

	身長 cm	30m走 sec.	立幅跳 cm	J/H比	立位投球 m	イリノイ走 sec.	I/S比	n
NTS CTr 25_GK女子	166.7 ± 3.9	4.70 ± 0.11	212 ± 14	1.27 ± 0.09	27.5 ± 2.5	17.58 ± 0.68	3.74 ± 0.12	5
NTS CTr 25_GK男子	184.5 ± 2.0	4.39 ± 0.21	235 ± 16	1.27 ± 0.09	37.7 ± 2.7	17.51 ± 0.59	3.99 ± 0.16	5
NTA 25 U16_GK女子	166.9 ± 3.7	4.75 ± 0.20	211 ± 8	1.27 ± 0.06	26.8 ± 2.5	17.55 ± 0.70	3.70 ± 0.13	7
NTA 25 U16_GK男子	183.8 ± 3.6	4.4 ± 0.1	239 ± 15	1.30 ± 0.08	37.1 ± 4.5	16.67 ± 0.52	3.79 ± 0.09	9

表3の結果を体力レベル表に照合すると、男女とも身長はレベル3～4であり、年代別優秀選手の平均水準（レベル4）前後であった。一方、走・跳・アジリティなどの体力項目は概ねレベル4～5、スローはレベル5～6に相当した。したがって、2025年度のNTS・NTA選出選手は、体格の大きさのみではなく、体力バランスと投能力を重視して選考された傾向が示唆される。なお、2025年度に実施されたNTSおよびNTAの開催日程は、次の通りであった。

(NTS開催日程)

U-13 NTS センタートレーニング 2025年11月29日・30日@ANTC

U-15 NTS センタートレーニング 2026年1月15日～18日 @ANTC

(NTA開催日程)

第1回NTA 2025年5月16日～18日@ANTC

第2回NTA 10月24日～26日 @ANTC

第3回NTA 2025年11月25日～27日@ANTC

(NTA GK キャンプ 2026年2月21日～24日@愛知)

※NTA GK キャンプでは、体力測定は実施しなかった。

3) NTS・NTA からアンダーカテゴリー日本代表に選出された選手の体力（抽出データ）

表4に、2017年度から2025年度までにアンダーカテゴリー日本代表歴を有する選手について、U-16当時の体力値をコートプレイヤー（CP）およびゴールキーパー（GK）別に示した。比較対象には、同期間にNTS・NTAに参加した選手の平均値を用いた。

表4 アンダーカテゴリー日本代表歴のある選手の U-16 当時の体力 (CP・GK 別) (2017 年～2025 年)

	身長 cm	30m走 sec.	立幅跳 cm	J/H比	立位投球 m	イリノイ走 sec.	I/S比	n
NTS/NTA17-25_CP男子	175.10	4.28	239.78	1.37	37.71	16.21	3.79	844
NTS/NTA17-25_CP男子 Uカテゴリ代表歴のある選手	180.17	4.26	245.43	1.36	41.73	16.24	3.82	60
NTS/NTA17-25_GK男子	179.32	4.44	232.86	1.30	34.79	16.81	3.79	175
NTS/NTA17-25_GK男子 Uカテゴリ代表歴のある選手	181.30	4.38	238.10	1.31	40.38	16.52	3.77	10

  

	身長 cm	30m走 sec.	立幅跳 cm	J/H比	立位投球 m	イリノイ走 sec.	I/S比	n
NTS/NTA17-25_CP女子	162.27	4.77	201.11	1.24	25.97	17.49	3.67	835
NTS/NTA17-25_CP女子 Uカテゴリ代表歴のある選手	164.65	4.65	205.16	1.25	29.19	17.13	3.69	74
NTS/NTA17-25_GK女子	165.27	4.94	196.53	1.19	23.90	18.27	3.70	130
NTS/NTA17-25_GK女子 Uカテゴリ代表歴のある選手	169.12	4.83	201.67	1.19	26.65	18.13	3.76	15

表4の結果から、男子CPでは身長、立幅跳、スロー、男子GKでは身長、スプリント、立幅跳、スロー、イリノイ走が、NTS・NTA選手平均値よりも高い水準を示した。女子では、CP・GKともに身長、スプリント、立幅跳、スロー、イリノイ走が高い水準を示した。これらの結果から、アンダーカテゴリー日本代表選手は体格と投能力に優れ、特にGKではスプリント、跳躍、アジリティを含む体力バランスの高さが特徴であると考えられる。

4) Jスタープロジェクトに参加した選手(女子選手のみ)の体力

Jスタープロジェクトでは、競技転向型タレント選手(8期生 n=3; 2名が途中終了)を対象に、専門測定会から検証合宿(計5回)まで、約1年間にわたり体力向上事業を実施した。対象者は中学生年代の女子選手であったため、強化コーチによるハンドボール基礎技術トレーニングと並行し、ドクター、トレーナーおよび体力科学委員会メンバーが生活面、コンディショニング、体力トレーニングに関する支援を行った。また、体組成および体力測定を継続的に実施し、発育・発達段階を踏まえた評価とフィードバックを行った。

表5 Jスタープロジェクトに参加したU-16選手の体力値(過去8年間)

	身長 cm	体重 kg	30m sec.	立幅跳 cm	J/H比	スロー m (2号)	イリノイ走 sec.	I/S比	280m コート シャトル走 sec.
1期 2018年度	162.04	53.69	5.00	209.71	1.29	25.33	17.70	3.54	67.64
2期 2019年度	166.00	52.75	4.52	217.60	1.31	26.50	16.75	3.71	63.43
3期 2020年度	165.24	56.20	4.73	217.00	1.31	23.00	17.62	3.73	65.38
4期 2021年度	169.50	58.50	4.34	230.00	1.36	24.23	16.75	3.86	61.33
5期 2022年度	166.65	55.60	4.62	221.00	1.33	24.40	16.85	3.65	60.25
6期 2023年度	165.46	58.94	4.66	216.80	1.31	26.92	17.01	3.64	64.20
7期 2024年度	164.63	61.23	4.53	221.50	1.35	30.43	16.58	3.66	63.50
8期 2025年度	167.87	64.63	4.66	219.67	1.31	28.00	16.88	3.62	62.33

表5に、過去8年間のJスタープロジェクト参加選手(U-16女子)の体力値を示した。8期生(網掛け部分)は、過年度と比較して体格に優れ、スプリント、跳躍、アジリティ、投能力の各項目も高い水準を示した。これらの値は、表4に示したUカテゴリ日本代表歴のある選手のU-16当時の体力値と比較しても同等以上の水準であり、Jスタープロジェクトにおいて体力特性の高いタレントが選出・育成されていることを示している。なお、本プロジェクトでは競技転向型タレントの発掘

を目的とするため、ハンドボール経験や専門的技能の比重は相対的に小さく、体格・体力特性が選考上重要な観点となる。各選手には、体力レベル表におけるレベル 6~7 を目標水準として提示し、継続的な強化を図った。

表 6 2025 年度 8 期生 (n=3) の体力・体格変化 (検証合宿初回データと最終測定データの比較)

	身長 cm	体重 kg	30m sec.	立幅跳 cm	J/H比	スロー m (1号球) <座位><立位>		スロー m (2号球) <座位><立位>	
2025検証 初回	167.10	61.97	4.48	227.33	1.36	18.73	30.07	20.13	29.43
2025検証 最終	167.87	64.63	4.66	219.67	1.31	19.83	30.47	20.07	28.00

	イリノイ走 sec.	I/S比	280m C 走 sec.	握力 (右) kg	握力 (左) kg
2025検証 初回	16.95	3.79	62.33	32.27	33.30
2025検証 最終	16.88	3.62	62.33	31.97	32.90

	身長 cm	体重 kg	筋肉量 kg	体脂肪率 %	利腕筋量 kg	非利腕筋量 kg	体幹筋量 kg	右脚筋量 kg	左脚筋量 kg
初回検証合宿 2025.6	167.10	61.97	46.97	19.23	2.45	2.37	20.80	7.97	7.97
最終検証合宿 2026.2	167.87	64.63	48.53	20.10	2.57	2.49	21.57	8.04	8.01

表 6 に、J スター 8 期生 3 名の初回検証合宿時と最終測定時における体格・体力の変化を示した。約 1 年間の検証期間を通じて、身長・体重および筋量は増加しており、成長期に伴う体格発達が確認された。一方で、握力、立幅跳、スローなど、筋力・瞬発力・投能力に関する指標では顕著な向上は認められなかった。対象者が少数 (n=3) であり、途中で 2 名が終了したことを踏まえると、個人差の影響が大きい点に留意する必要がある。今後は、体格発達を競技力向上につなげるため、基礎的な筋力・パワー発揮能力および投動作の技術的学習を継続的に支援することが課題である。なお、2025 年度に実施された J スター検証合宿の開催日程は、次の通りであった。

(J スター検証合宿開催日程)

- 第 1 回 2025 年 6 月 6 日~8 日 @ANTC
  - 第 2 回 8 月 18 日~20 日 @札幌国際大
  - 第 3 回 10 月 17 日~19 日 @中部大学
  - 第 4 回 12 月 26 日~28 日 @ANTC
  - 第 5 回 2026 年 2 月 13 日~15 日 @ANTC
- その他、計 10 回のオンライントレーニングサポートを実施

5) その他の体力科学委員会の活動

2025 年 12 月 28 日・29 日 J スタープロジェクト専門測定会における体力測定と評価  
東日本地区 (ANTC) において、日本スポーツ振興センターと連携して実施

(9) 医事活動 (メディカルサポート委員会・医事専門委員会)

1) 委員会開催 (4 回/年以上)

- ・ Web, メールなどを介してメディカルサポート委員会会議を行った。
- ①日本ハンドボールリーグ (以下、H リーグ) でのドクター配置について検討した。H リーグの医療安全についての今後の拡充が必要であること、H リーグからの要請に応じて協力体制を構築していくことを確認した。
- ②医事専門委員会を正会員・準会員などによる構成員の広域化、多様性を推進する。
- ③アンチ・ドーピング教育について従来通りに行っていくことを確認した。
- ④コロナ感染について、国の指針通り 5 類のカテゴリーに沿って対応していくことを確認した。
- ⑤医薬品の取り扱いについては現状通り、遠征時には帯同ドクターが準備することとなった。
- ⑥海外並びに国内帯同ドクターの帯同報告ならびに当該年度のドクター選定を行った。また、世界ドーピング防止機構 (以下、WADA) code の規程改定の確認を行った。

## 2) 帯同ドクターの派遣

男女日本代表、男子ジュニア・ユース、女子ジュニア・ユースチームにおける国内および海外遠征にドクターを派遣した。(アンチ・ドーピング研修実施)

- ①男子代表 国内強化合宿ならびに1月アジア選手権@クウェート
- ②女子代表 国内強化合宿ならびに11~12月世界選手権@オランダ・ドイツ
- ③男子U-21 国内強化合宿ならびに6月世界選手権@ポーランド
- ④女子U-20 国内強化合宿ならびに7月アジア選手権@中国
- ⑤男子U-19 国内強化合宿ならびに8月世界選手権@エジプト
- ⑥女子U-18 国内強化合宿ならびに7月アジア選手権@ウズベキスタン

## 3) 全日本ビーチ選手権、日本選手権、JHL プレーオフ会場にドクターを派遣

Jスター事業にドクターを派遣、デフリンピック・デフハンドボール大会に会場ドクターを派遣

## 4) メディカルチェック事業

各カテゴリー代表チームに帯同したドクターによるメディカルチェックを適宜実施した。

- ①NTC での合宿やオンラインにて管理栄養士による栄養指導を実施した。NTC 外での合宿については、管理栄養された食事メニューを提供し、食育活動を行った。
- ②公益財団法人日本スポーツ協会の公認資格「スポーツドクター」の受講者推薦を行った。
- ③NTS にドクターを派遣した。(アンチ・ドーピング研修実施)
- ④コロナからインフルエンザ感染症までの検査・指導ならびに感染防止対策を行った。

## (10) トレーナーの活動(メディカルサポート委員会・トレーナー専門委員会)

### 1) トレーナー派遣

男女日本代表、男子U-21、U-19、女子U-20、U-18における国内および海外遠征にトレーナーを帯同させ、連携を図った。

#### ①男子代表 帯同トレーナー 2名

第1回強化合宿 2025年6月17日~19日@ANTC

日韓定期戦 6月21日@韓国

第2回強化合宿 8月13日~19日@ANTC

パリ・サン＝ジェルマン ハンドボールジャパントアール2025 8月19日~20日@代々木第一

第3回強化合宿 9月27日~10月4日@ANTC

第1回海外遠征 10月27日~11月6日@北マケドニア・トルコ

第4回強化合宿 12月28日~2026年1月6日@ANTC

第2回海外遠征 1月6日~13日@サウジアラビア

アジア選手権 1月15日~29日@クウェート

第5回強化合宿 3月16日~22日@ANTC

#### ②女子代表 帯同トレーナー 2名

第1回強化合宿 6月17日~19日@ANTC

日韓定期戦 6月21日@韓国

第2回強化合宿 8月12日~17日@ANTC

第1回欧州遠征 10月12日~20日@ポルトガル

第3回強化合宿 10月22日~29日@ANTC

第4回強化合宿 11月9日~15日@ANTC

第2回欧州遠征 11月16日~25日@フランス

世界選手権 11月26日~12月14日@オランダ・ドイツ

#### ③男子U-21 帯同トレーナー 2名

第1回強化合宿 6月6日~9日@ANTC

世界選手権 6月18日~29日@ポーランド

#### ④男子U-19 帯同トレーナー 1名

第1回強化合宿 6月30日~7月4日@ANTC

第2回強化合宿 7月8日~13日@ANTC

第3回強化合宿 7月25日~28日@ANTC

世界選手権 8月6日~17日@エジプト

⑤女子U-20 帯同トレーナー 1名

- 第1回強化合宿 6月25日～27日@ANTC
- 第2回強化合宿 7月19日～21日@ANTC
- 第3回強化合宿 8月16日～18日@ANTC
- アジア選手権 8月20日～29日@ウズベキスタン

⑥女子U-18 帯同トレーナー 1名

- 第1回強化合宿 6月26日～28日@ANTC
- 第2回強化合宿 7月10日～16日@ANTC
- アジア選手権 7月18日～26日@中国

⑦NTS 帯同トレーナー のべ8名

- 西日本会場 9月20日～21日@環太平洋大学
- 南日本会場 10月18日～19日@トヨタ紡織九州クレインアリーナ
- 関東会場 10月25日～26日@大崎電気
- 中日本会場 11月8日～9日@中部大学
- 北日本会場 11月15日～16日@札幌国際大学
- U-13 センタートレーニング 11月29日～30日@ANTC
- U-15 センタートレーニング 2026年1月15日～18日@ANTC

⑧NTA 帯同トレーナー 2名

- 第1回育成合宿 5月16日～18日@ANTC
- 欧州遠征 9月4日～12日@スウェーデン
- 第2回育成合宿 10月24日～26日@ANTC
- 第3回育成合宿 11月25日～27日@ANTC
- GK キャンプ 2026年2月21日～24日@中部大学

⑨J スター 帯同トレーナー 1名

- 第1回検証合宿 6月6日～8日@ANTC
- 第2回検証合宿 8月18日～21日@札幌国際大学
- 第3回検証合宿 10月17日～19日@中部大学
- 第4回検証合宿 12月26日～28日@ANTC
- 第5回検証合宿 2026年2月13日～15日@ANTC

2) 全日本学生選手権トレーナーブース設置

11月2日～6日まで石川県にて開催された全日本学生選手権大会において3会場にてトレーナーブースを設置し会場の安全対策や選手・スタッフ・審判へのメディカルサポートを実施。

3) 定例委員会

2025年度よりトレーナー専門委員会ブロック委員のメンバーが新体制となったため、12月23日にオンラインミーティングを実施した。ミーティングでは、新任ブロック委員を含めた各委員の挨拶を行うとともに、それぞれの役割分担や今年度の活動方針について確認・共有した。

4) 第2回資格認定制度の実施

トレーナー専門委員会内での代表トレーナー等の技術・知識向上を目的とした資格認定制度第2回を実施した。今回は、オンライン講習を12月27日に、集合講習を2026年1月10日にANTCにて実施し、書類選考により選抜された受講者10名が参加した。講習では、ハンドボール現場における安全管理、救急対応、コンディショニング、Throw7を含めたウォーミングアップ構築、足関節・膝関節のテーピング実技などを実施した。各項目について筆記および実技評価を行い、合格者7名、条件付き合格者3名、不合格者0名であった。

5) トレーナー専門委員会総会

2026年1月11日、AMTC イーストにて第10回トレーナー専門委員会総会を実施した。当日は、トレーナー専門委員会会員55名、非会員13名の計68名が参加した。総会では、冒頭HPDにご挨拶とトレーナーに対する激励の言葉をいただいた。委員会の新組織体制や活動報告を行うとともに、最新のPRP療法や衝撃波療法などの保険適用外診療、コンディショニング管理とパフォーマンス向上、ハンドボールトップチームにおける身体づくり等について外部講師を招き講演を実施した。また、「パフォーマンスアップのために」をテーマとしたパネルディスカッションを行い、各競技・各現場における取り組みや課題、チーム内での連携について意見交換を行った。本総会はJSP0更新研修も兼ねており、ハンドボール競技に携わるトレーナーのみならず、他競技のトレーナーも参加し、知識共有およびトレーナー間の交流を図る有意義な機会となった。

#### 6) JSP0 公認アスレティックトレーナー (AT)

JSP0-AT については、毎年競技団体として継続的に AT の選出・推薦・受講を行っており、2025 年度も専門委員会内にて公募し、一定基準による書類選考・専門委員会内会議を経て2名を選出した。メディカルサポート委員長の承認後に JHA 事務局に書類を提示し JSP0 に推薦提出を行った。選考会議では、AT の役割、活動、今後の運用について打ち合わせを実施した。

## 2. 育成に関する事業

### (1) 競技者の育成

#### 1) 発掘育成委員会

第1回 2025年6月12日@オンライン

##### ①NTS 専門委員会

###### ア.NTS チャレンジサーキット

西日本	2025年9月20日～21日@環太平洋大学	男子32名、女子17名、スタッフ19名
南日本	10月18日～19日@トヨタ紡織九州	男子26名、女子18名、スタッフ7名
関東	10月25日～26日@大崎電気	男子49名、女子49名、スタッフ6名
中日本	11月8日～9日@中部大学	男子48名、女子16名、スタッフ16名
北日本	11月15日～16日@札幌国際大学	男子13名、女子10名、スタッフ17名

###### イ.NTS センタートレーニング

U-13 11月29日～30日@ANTC 男子32名、女子25名、スタッフ25名

U-15 2026年1月24日～26日@中部大学 男子28名、女子29名、スタッフ25名

##### ②NTA 専門委員会

###### ア.ナショナルトレーニングアカデミー (NTA) 育成合宿

第1回 5月16日～18日@ANTC 男子25名、女子26名、スタッフ20名

海外遠征 9月4日～12日@スウェーデン 男子16名、女子16名、スタッフ13名  
外国籍コーチの指導、現地クラブとエキシビジョンマッチ等

第2回 10月24日～26日@ANTC 男子21名、女子22名、スタッフ18名

第3回 11月25日～27日@ANTC 男子21名、女子21名、スタッフ17名

GK キャンプ 2026年2月21日～24日@中部大学

男子10名、女子8名、スタッフ54名

実施時期	概要	場所
2025/ 5/16～18	【第1回育成合宿】 参加者計71名 [スタッフ20名 男子25名 女子26名]	NTC
9/4～12	【スウェーデン遠征】 参加者計45名 [スタッフ13名 男子16名 女子16名] 外国籍コーチ 現地クラブとエキシビジョンマッチ等	スウェーデン ・ルンド
10/24～26	【第2回育成合宿】 参加者計61名 [スタッフ18名 男子21名 女子22名]	NTC
11/25～27	【第3回育成合宿】 参加者計59名 [スタッフ17名 男子21名 女子21名]	NTC
2026/ 2/21～24	【GK キャンプ】 参加者計41名 [スタッフ54名男子10名女子8名 補助指導者10名] トレーニングパートナー：中部大学男子、中京大女子	中部大学

##### ③J スター専門委員会

###### ア.競技転向型タレント検証事業

###### ・タレント検証会議

第1回 2025年5月27日@オンライン 参加委員9名、事務局1名

第2回 8月19日@オンライン 参加委員6名、事務局1名

第3回 11月12日@オンライン 参加委員6名、事務局1名

第4回 2026年3月4日@オンライン 参加委員9名、事務局1名

###### ・タレント検証合宿

第1回 2025年6月6日～8日@ANTC 選手5名、スタッフ11名

第2回 8月18日～21日@札幌国際大学 選手3名、スタッフ11名

第3回 10月17日～19日@中部大学 選手3名、スタッフ10名

第4回 12月26日～28日@ANTC 選手2名、スタッフ9名

第5回 2026年1月30日～2月1日@ANTC 選手3名、スタッフ8名

###### ・オンライントレーニング (6・7・8期生)

第1回 2025年5月23日 選手5名、スタッフ4名

第2回 6月20日 選手5名、スタッフ4名

第3回 7月25日 選手5名、スタッフ3名

第4回 8月31日 選手3名、スタッフ3名

- 第5回 9月19日 選手4名、スタッフ2名
- 第6回 10月5日 選手4名、スタッフ3名
- 第7回 11月9日 選手3名、スタッフ2名
- 第8回 12月12日 選手2名、スタッフ1名
- 第9回 2026年1月25日 選手2名、スタッフ2名
- 第10回 3月1日 選手2名、スタッフ2名
- ④Jスター（ジャパン・ライジング・スター）プロジェクト
  - ア. 実行委員会
    - 第1回 2025年11月11日@オンライン 参加委員6名、事務局1名
    - 第2回 2026年3月4日 @オンライン 参加委員9名、事務局1名
  - イ. 専門測定会
    - 東日本地区 2025年12月26日～27日@ANTC 選手5名、スタッフ13名

(2) 指導者の育成（指導普及本部）

1) 指導部

①公認コーチ養成講習会専門科目講習会

ア. コーチ3

6月27日～29日@日本女子体育大学 受講者66名（合格者66名）

2月13日～15日@ANTC 受講者54名（合格者54名）

イ. スタートコーチ

6月8日～11月30日@全国28会場 総受講者420名（合格者387名）

②公認コーチ1養成講習会免除適応コース専門科目検定試験

2026年2月7日、8日@大阪体育大学 受講者26名（合格者26名）

2) 全国指導委員長ミーティング

3月27日～28日@オンライン 出席者48名

### 3. 審判に関する事業（審判本部）

#### （1）主な事業

##### 1) 実施事業一覧

開催日・期間	事業名	委員会等	開催地	概要および実績
4/ 1	・ MY HANDBALLによる資格 （【新規】【更新】 インドア、ビーチ、テクニカルオフィシャル、審判指導員） ・ 申請書による登録 （【休止】【移籍】【再開】 インドア、ビーチ、テクニカルオフィシャル、審判指導員）			
4/19	第1回審判委員会合同会	審	オンライン	<出席者> 競技本部長、審判本部長、各専門委員会委員長、ブロック審判長、連盟審判長 他 内容/2025年度 事業等の確認 等
4/19	第1回テクニカルオフィシャル専門委員会（兼 ブロック・連盟・都道府県担当者研修会）	T	オンライン	<出席者> 各都道府県担当者（または代理）各ブロック担当者 他 内容/顔合わせ、業務の確認、登録者状況の確認 等
4/20、27 5/4、11、 25	東地区A級審査会	査	埼玉県 東京都	受検者 19名（11名合格/うち女性2名）、欠席 2名 審査員 4名 @関東学生春季（男子2部）
5/3～ 4、6	中地区A級審査会	査	滋賀県 京都府	受検者 25名（14名合格/うち女性1名）、審査員 5名 @関西学生春季（男子2部または3部）
5/4、6、 10～11	近畿ブロックB級審査会	査	京都府 大阪府	受検者 17名（11名合格/うち女性2名）、審査員 3名 @関西学生リーグ戦男子3部又は4部
5/6～15	第10回男女ビーチハンドボールアジア選手権	★	オマーン	TD1名を派遣
5/9～10	西地区A級審査会	査	沖縄県	受検者 11名（7名合格/うち女性1名）、審査員 6名 @九州一般選手権大会
5/10～11	レフェリーアカデミー （@東海学生春季リーグ戦）	ア	愛知県	指導者5名によるアセスメント（22試合）
5/17～18	北信越ブロックB級審査会	査	富山県	受検者 4名（2名合格）、審査員 3名 @北信越学生春季リーグ戦
5/25	令和7年度 指名レフェリー連絡会	査	オンライン	<参加者> 令和7年度指名レフェリー、ブロック審判長
5/20～30	大陸連盟レフェリーコース	★	ウズベキスタン	レフェリー：1ペア ※ 大陸連盟レフェリー資格取得（日本人11組目）
6/1	北海道ブロックB級審査会	査	北海道 札幌市	受検者 5名（3名合格うち女性2名）、審査員 2名 @北海道春季学生リーグ
6/7～8	東海ブロックB級審査会	査	岐阜県 岐阜市	受検者 12名（9名合格）、欠席 1名、審査員 4名 @ジャパンオープン東海予選会・東海クラブ選手権大会
6/13～15	レフェリーシンポジウム2025	審	東京都 渋谷区	<講演者> 外国人講師 1名、審判本部長 <スタッフ> S級審判インストラクター資格保有者 <参加者> 一般参加 3日間 計41名
6/14～15	専門委員会	ル指	東京都 渋谷区	<参加者> 各専門委員会委員 （審判指導専門委員会、競技規則研究専門委員会）
6/13～15	レフェリーアカデミー （@レフェリーシンポジウム） （@リーグHPプレイオフ）	ア	東京都 渋谷区	大会審判団のミーティング、アセスメントに同席 およびレフェリーシンポジウムへの参加
6/21～22	東北ブロックB級審査会	査	岩手県 花巻市	受検者 10名（10名合格/うち女性1名）、欠席 1名 審査員 2名 @ジャパンオープン東北予選・東北クラブ選手権大会
6/21	第2回審判委員会合同会	審	メール 会議 （紙面）	<出席者> 競技本部長、審判本部長、各専門委員会委員長、ブロック審判長、連盟審判長 他 内容/本部長・各専門委員会・各連盟 等

6/21	第2回テクニカルオフィシャル 専門委員会	T	オンライ ン	<出席者> 競技本部長・審判本部長、委員 長、委員、連盟、ブロック代表 他 内容/リーグH(2025-2026シーズン)のテクニ カルオフィシャルの推薦・選出について
6/22	第1回全日本大会派遣委員連絡 会	ル 指	オンライ ン	<出席者> 競技本部長、審判本部長、両専門委員 会委員(委員長、連盟派遣委員、サポートスタッ フ)、大会副審判長 等 内容/全日本大会派遣に関する内容共有について
6/27~29	関東ブロックB級審査会	査	茨城県 守谷市 他	受検者 14名(8名合格)、審査員 7名 @関東社会人・クラブ選手権大会
6/18~29	第25回IHF男子ジュニア (U-21)ハンドボール世界	★	ポーランド	レフェリー: 1ペア派遣 ※ <u>IHF公認国際レフェリー資格取得</u> (日本人51、52人目)
7/1~3	競技規則研究委員・審判指導委員 ・テクニカルオフィシャル派遣 (社会人選手権)	ル 指 T	宮城県 仙台市	競技規則研究委員、審判指導委員 各1名を派遣 テクニカルオフィシャル専門委員 1名を派遣
7/4~5	中四国ブロックおよび 九州ブロックB級審査会	査	福岡県 福岡市	受検者 19名(9名合格/うち女性2名)、審査員 6名 @全国クラブ選手権大会・西地区大会
7/13	臨時審判委員会合同会	審	オンライ ン	審判本部合同委員会委員 内容/新体制による本部始動について 他
7/18~26	第11回女子ユース ハンドボールアジア選手権	★	中国	TD: 1名を派遣
7/19~20 26~27	リーグHレフェリー合同研修会	H	①愛知県 ②東京都	<講師> リーグH審判委員会委員長 <参加者> チーム、レフェリー、レフェリーアセッサー
7/30~ 8/2	競技規則研究委員・審判指導委員 派遣(全国小学生)	ル 指	京都府	競技規則研究委員、審判指導委員 各1名を派遣
8/2~4:ル 8/2~5:指	競技規則研究委員・審判指導委員 派遣(全国高校総体)	ル 指	岡山県	競技規則研究委員、審判指導委員 各1名を派遣
8/22~24	競技規則研究委員・審判指導委員 派遣(全国中学校大会)	ル 指	沖縄県	競技規則研究委員、審判指導委員 各1名を派遣
8/19、20	パリ・サン=ジェルマン ハンドボールジャパンツアー 2025	★	東京都・ 渋谷区	担当レフェリーとして、JHAより 2ペアを派遣
9/6	Ramón Gallego (ESP) 氏の 本協会アドバイザー就任	審		JHA常務理事会にて承認
9/15~25	第1回男子U-17 ハンドボールアジア選手権	★	ヨルダン	TD: 1名を派遣
9/28	第3回審判委員会合同会	審	メール 会議 (紙面)	<出席者> 競技・審判本部長、各専門委員会委員 長、ブロック審判長、連盟審判長 他 内容/ 9月常務理事会報告、各専門委員会報告 等
10/3~7	テクニカルオフィシャル派遣 (第79回国民スポーツ大会)	T	滋賀県	テクニカルオフィシャル専門委員 1名を中央競 技団体役員として派遣
10/24~26	レフェリーアカデミー (@サニックスカップ)	ア	福岡県 宗像市	指導者5名によるアセスメント(16試合)
10/22~31	第3回ユースアジア競技大会	★	バーレーン	TD: 1名を派遣
10/24~ 11/1	第1回IHF男子U-17 ハンドボール世界選手権	★	モロッコ	レフェリー: 1ペアを派遣 ※ 3人制。日本人初のファイナル担当
11/1~4	競技規則研究委員・審判指導委員 派遣(全日本学生)	ル 指	石川県	競技規則研究委員、審判指導委員 各1名を派遣

11/16～25	第25回夏季デフリンピック 競技大会 東京2025	★	東京都 世田谷区	派遣海外レフェリー：バーレーン、韓国 国内：関東ブロック所属レフェリーを中心に17名 を派遣、MOとして4名を派遣
12/7	第2回全日本大会 派遣委員連絡会	ル	メール 会議 (紙面)	<出席者> 競技本部長、審判本部長、専門委 員会委員(委員長、連盟派遣委員、サポート スタッフ) 内容/来年度に向けて(内容検討、確認、意思疎通)
12/7	審判指導専門委員会	指	メール 会議	<参加者> 審判指導専門委員会委員
12/17～21	審判指導委員・テクニカルオフ ィシャル派遣 (第77回日本ハンドボール 選手権大会)	指 T	広島県 広島市	S級指導員：4名派遣 テクニカルオフィシャル専門委員 2名派遣
12/17～21	トップレフェリー研修会	審	広島県 広島市	<参加者> 競技・審判本部長 大会担当審判員(15ペア30名)、大会担当TO 他
12/20～21	本部長ヒアリング	審	広島県 広島市	出席者：本部長、各専門委員会委員長およびサポ ートスタッフ(審査、指導、視聴覚、ビーチ、競 技規則、アカデミー) 内容/本年度活動内容および来年度に向けた活動内容 他
12/20～21	専門委員会	ル 指	広島県 広島市	<参加者> 競技規則研究専門委員会委員、審判指導專 門委員会委員 ※ 専門委員会ごとに実施
12/19～21	レフェリーアカデミー (@日本選手権)	ア	広島県 広島市	大会審判団のミーティング、アセスメントに同席
12/25～29	審判指導委員派遣 (ジュニアセレクトカップ)	指	長野県	審判指導委員：1名を派遣
2026 1/10～11	競技規則研究専門委員会	ル	メール 会議	<参加者> 競技規則研究専門委員会委員 内容/新競技規則書
1/15～29	第22回男子ハンドボール アジア選手権	★	クウェート	レフェリー：1ペア を派遣 TD：1名を派遣
1/31～ 2/1	審判本部合同委員会	審	東京都 (ANTC)	競技・審判本部長、各専門委員会委員長・副委員 長、 ブロック審判長、連盟審判長、アドバイザー、JHA事 務局
2/21～23	レフェリーアカデミー (@全日本社会人チャレンジ 2026)	ア	広島県 広島市	兼A級審査(対象者：5名) ※ 審判審査委員会より審査員を派遣
2月～3月	全日本大会担当審判員候補者 研修会	審 指・査	全国9 ブロック	各ブロックにて、ブロック審判長・ブロック審判 指導担当者・ブロック審査員にて実施
3/22	審査専門委員会	査	オンライ ン	<参加者> 審査専門委員会委員 内容/令和8年度 審査会に向けて
3/24～29	テクニカルオフィシャル委員派 遣(全国高校選抜大会)	T	大分県 大分市	テクニカルオフィシャル専門委員 1名を派遣

<委員会等>

審： 審判委員会  
査： 審判審査専門委員会  
指： 審判指導専門委員会  
ア： レフェリーアカデミー(集合研修のみ記載)

ル： 競技規則研究専門委員会  
T： テクニカルオフィシャル専門委員会  
H： リーグH審判専門委員会  
★： 国際大会

2) レフェリーコース近畿ブロック@関西学生ハンドボールリーグ会場(大阪大学体育館)

(前期) 2025年4月 5日(土)～26日(土)

(後期) 9月13日(土)～15日(月祝)

審査結果：受検者4名、B級合格4名

3) ビーチハンドボール審判講習会

- ・静岡県 (9月) 浜松ビーチハンドボールフェスタ
- ・兵庫県 (10月) ジャパンビーチゲームズ
- ・愛知県 (10月) 全日本ビーチハンドボール選手権大会
- ・東京都 (3月) ENEOSビーチイベント

4) その他の事業

- ①文書の発送受付ならびに各種登録、会場手配、交通費算出、マイハンド登録関係 (JHA事務局)
  - ②研修用資料の企画・制作 (審判指導専門委員会、競技規則研究専門委員会、ビーチハンドボール審判専門委員会、テクニカルオフィシャル専門委員会)
  - ③各全日本大会における審判技術の実態把握  
(競技本部長、審判本部長、連盟審判長、ブロック審判長)
- 5) 国際情報収集と競技規則書 (インドア、ビーチ) 他解説書等の作成  
(競技規則研究専門委員会、視聴覚専門委員会、テクニカルオフィシャル専門委員会)
- 6) 他本部・委員会等との連携強化 (競技本部長、審判本部長)
- 7) A/B級公認審判員審査結果

	2023(令和5)年度		2024(令和6)年度		2025(令和7)年度	
	A級	B級	A級	B級	A級	B級
審査申請者	56	77	57	52	57	83
書類不備	0	0	0	0	0	0
欠席	3	2	1	6	2	2
筆記試験不合格	9	14	14	9	13	19
実技試験不合格	17	7	22	2	9	8
体力試験不合格	体力試験実施なし		3	4	1	2
合格者	27	54	19	37	32	52

※ 不合格項目が複数ある受検者は、1. 体力 2. 筆記 3. 実技を優先順位として、順位が高い方の不合格者数にカウント

8) 審判関係公認資格登録状況

※ 各年度、右側枠内朱書き箇所は、全登録者数に対する女性審判員の登録者数

種別	級	2023(令和5)年度		2024(令和6)年度		2025(令和7)年度	
		登録者数	(女性)	登録者数	(女性)	登録者数	(女性)
インドアハンドボール	終身	110	5	111	5	117	6
	国際	11	1	10	1	12	1
	A級	328	21	349	18	382	23
	B級	477	33	524	43	577	47
	C級	725	106	893	125	1,040	154
	D級	1,647	368	1,783	388	2,077	428
	等級未設定	36	5	97	11	58	6
	インドア審判員計	3,334	539	3,767	591	4,263	665
	S級TO	2	0	2	0	2	0
	A級TO					82	7
	B級TO	1,029	181	1,127	211	1,149	225
	TO計	1,031	181	1,129	211	1,233	232
	S級インストラクター					23	1
	A級インストラクター	163	4	167	4	138	4
	B級インストラクター	50	2	46	2	43	3
	C級インストラクター	6	0	8	0	4	0
	インストラクター計	219	6	221	6	208	8
ビーチハンドボール	ビーチS級審判員兼TO	0	0	0	0	0	0
	ビーチB級審判員兼TO	51	17	44	13	56	14
	ビーチ審判員計	51	17	44	13	56	14
	ビーチS級インストラクター	1	0	1	0	1	0
	ビーチインストラクター計	1	0	1	0	1	0

※ 上記登録者数は、令和8年1月19日 時点での登録者数を掲載

※ 上記インドアハンドボールインストラクター資格は、終身審判員含む

※ インドア公認審判員とその他資格において重複での登録あり

※ インドア公認審判員以外の資格は、2023(令和5)年9月より設置された資格となる

※ S級インストラクターおよびA級テクニカルオフィシャルは、2025年度が審査最初の年度となる

#### 4. 競技普及に関する事業（指導普及本部）

##### （1）学校体育専門委員会

- 1) 学校体育専門委員会@オンライン 2025年5月26日
- 2) 第2回ハンドボール教材キャラバン
  - ・2025年7月16日@北海道教育大学 受講者数：99名
  - ・7月22日 @宇城市松橋町サンアビリティーズ 受講者数：11名
  - ・8月19日 @山鹿市菊鹿グリーンパレス 受講者数：32名
  - ・10月19日 @大分市日岡小学校 受講者数：18名
  - ・12月25日 @小松市立苗代小学校 受講者数：20名
  - ・2026年1月31日@大阪市立島谷小学校 受講者数：25名

##### （2）マスターズ専門委員会

- 1) 第33回全日本マスターズ大会（交流型、順位決定型, 11人制）  
2025年8月15日～17日@愛知県豊田市 参加者数 692名
- 2) 第9回全日本マスターズシニア大会  
12月23日～24日@滋賀県東近江市 参加者数 207名
- 3) マスターズ専門委員会及び実行委員会@愛知県 ブラザー工業体育館会議室 計13回  
2025年4月13日、4月27日、5月11日、5月25日、6月15日、6月29日、7月13日、7月20日、  
8月3日、9月21日、10月12日、11月9日、11月23日

##### （3）デフハンドボール専門委員会

###### 1) 普及啓発活動

- ①スポーツボランティア入門講座  
2025年5月28日@東京体育館 テーマ：東京2025デフリンピックに向けて学ぼう！  
登壇者：専門委員会委員長、デフ男子代表候補2名
- ②AKEUMI デフリンピックスポーツツアー2025第四弾デフハンドボール  
9月15日@東京都パラスポーツトレーニングセンター  
担当：専門委員会、デフ男子代表選手ほか
- ③「未来へつながるプログラム」における「教育ワークショップ型プログラム」  
主催：全日本ろうあ連盟 9月26日@武蔵野市立桜野小学校 担当：デフ男子代表選手3名
- ④「パラスポーツトークショー&デフハンドボール競技体験会」  
9月28日@東京都立葛飾ろう学校 担当：専門委員会、デフ男子代表選手ほか
- ⑤「スポーツFUN PARK」でのデフハンドボール/車椅子ハンドボール体験会  
11月22日-24日@駒沢公園中央広場（東京2025デフリンピック開催時）  
担当：専門委員会、日本車椅子ハンドボール連盟ほか
- ⑥東京都パラスポーツ次世代選手発掘プログラム  
2026年2月7日@荒川総合スポーツセンター 担当：専門委員会、元デフ男子代表選手ほか

###### 2) 強化活動

- ①強化トレーニング
    - 第1回：4月19日～20日@ひがしんアリーナ、ANTC
    - 第2回：6月14日～15日、21日～22日@ANTC、駒沢屋内球技場、川崎市とどろきアリーナ
    - 第3回：8月8日～10日@ANTC
    - 第4回：9月20日-22日@ANTC
    - 第5回：10月11日～13日、18日-19日@ANTC
    - 第6回：11月1日～3日@ANTC
  - ②選考会  
5月3日～5日@ANTC
  - ③東京2025デフリンピック  
11月14日～26日@駒沢屋内球技場  
〈結果〉 7位/8チーム
- 3) デフハンドボール専門委員会会議 計1回  
2026年2月11日@オンライン

(4) ビーチハンドボール専門委員会

- 1) JAPAN BEACH GAMES 神戸須磨 ビーチハンドボールフェスタ2025 (大会)  
2025年10月4日～5日@兵庫県神戸市 参加者数 93名
- 2) JAPAN BEACH GAMES 神戸須磨 ビーチハンドボールフェスタ2025 (体験会)  
10月4日～5日@兵庫県神戸市 参加者数 60名
- 3) 第27回全日本ビーチハンドボール選手権大会  
10月25日～26日@愛知県碧南市 参加者数 160名
- 4) チャレンジマッチ・碧南クリーンアップDAY  
10月26日@愛知県碧南市 申し込み25名⇒雨天のため参加者数 10名
- 5) ビーチハンドフェスタ Presented by ENEOS  
2026年3月1日@東京都立川市 参加者数 76名  
[https://handball.or.jp/system/prog/content.php?sd=g&c=11&sc=1&article\\_idno=1416](https://handball.or.jp/system/prog/content.php?sd=g&c=11&sc=1&article_idno=1416)
- 6) 委員会@オンライン 計12回  
2025年4月28日、5月26日、6月30日、7月22日、8月4日、9月16日、10月21日、11月18日、  
12月9日、2026年1月13日、2月10日、3月17日

(5) 小学生専門委員会

- 1) 全国小学生ハンドボール大会  
2025年7月31日～8月3日@京都府 京田辺市
- 2) 全国U-12指導者研修会 (JSP0指導者資格更新研修)  
11月22日～23日@関西福祉科学大学 受講者数: 52名
- 3) 小学生専門委員会会議@オンライン (7月30日のみ対面とのハイブリッド会議) 計9回  
4月20日、5月7日、6月29日、7月30日、9月7日、10月26日、11月22日、1月17日、3月15日
- 4) 全国小学校大会あり方小委員会会議@オンライン 計8回  
4月22日、4月30日、5月6日、5月20日、6月8日、6月17日、7月29日、8月29日
- 5) インテグリティ活動
  - ①「U-12指導指針」の露出 (全都道府県で啓蒙活動を行う)  
4月1日～3月31日 全都道府県でバナーの掲示、チラシ配布を実施
  - ②小学生活動満足度調査 (アンケート調査)  
調査期間: 12月1日～2月28日  
調査対象: 全国の小学生ハンドボール選手および保護者 回答数: 1,510件

(6) 中学生専門委員会

- 1) 全国大会
  - ①全国中学生クラブカップ2025  
2025年8月6日～8日@岩手県花巻市
  - ②第34回U-15ジュニアセレクトカップハンドボール大会  
12月26日～29日@長野県上田市他
  - ③第21回春の中学生ハンドボール選手権大会  
2026年3月26日～29日@富山県氷見市
- 2) 中学生専門委員会会議 計3回  
8月21日@沖縄県那覇市、12月27日@長野県上田市、3月28日@富山県氷見市
- 3) 中学生専門委員会クラブ部会会議  
8月6日@岩手県花巻市

## 5. 競技運営に関する事業（競技本部、大会運営委員会）

### (1) 総括

2025年度は、競技・大会運営も大きな事故なく、審判本部、事務局、連盟、各都道府県協会の協力を得て実施できました。主催大会の運営として、日本選手権（男女共催）においては JHA 事務局が主管、実施しました。開催地協会の協力を得ながらではありましたが、経費節減には一定の効果が見られました。今後の協会運営、大会運営の試金石にもなり得ますが、集客や収益を拡大するためには、開催時期、競技運営方法面でも課題が出てきており、これらを解決するためには、競技本部のみならず、マーケティング、強化など JHA の総力を挙げての取り組みが必要であると考えられます。

### (2) 国内で開催された主要大会の管理・運営・協力（斜体は国際大会）

月	大会名	開催日程	開催地	結果
7月	高松宮記念杯 第13回全日本社会人 選手権大会	7/1-5	宮城県・仙台市	【男子】1：トヨタ紡織九州 2：安芸高田わくなが 3：大崎ホッパ埼玉 【女子】実施せず
7-8月	第38回 全国小学生大会	7/31-8/3	京都府・ 京田辺市他	【男子】1：HC 春吉 Jr. 2：岩国レイン ボー・キッズ 3：HC YOKOHAMA、T-SQUARE 京 都 【女子】1：T-SQUARE 京都 2：ウエイティン 三重 3：富岡レッツ、スポーツ少年団守谷ク ラブ
8月	高松宮記念杯第76回 全日本高校選手権大会	8/3-8	岡山県・ 総社市、倉敷市	【男子】1：北陸高校 2：法政大学第二 高校 3：県立氷見高校、県立総社高校 【女子】1：昭和学院高校 2：白梅学園 高校 3：府立洛北高校、神戸星城高校
	全国中学生 クラブカップ2025	8/6-8	岩手県・花巻市	【男子】1：ウエイティン三重ハンドボールクラブ U-15 2：大崎ジュニアクラブ 3：HC 岡山ユ ース、ブレスド名古屋 Jr. ハンドボールクラブ 【女子】1：HC 岡山ユース 2：ウエイティン三 重ハンドボールクラブ U-15 3：ブレスド名古屋 Jr. ハンドボールクラブ、HC URAWA
	第30回ジャパンオー プントーナメント	8/9-12	青森県・青森市	【男子】1：FOG 2：HC 滋賀 3：REGULUS OSAKA 4：沖縄ゼネラル 【女子】1：テレフォール岡山 2：HC 宮崎 3：REDS 4：KC
	第33回全日本 マスターズ大会 (交流型、順位決定 型、11人制)	8/15-17	神奈川県・ 藤沢市	多くのチームが参加し、7人制、11人制 とも盛大に実施された
	第54回全国中学校 大会	8/19-21	沖縄県・ 那覇市、 豊見城市	【男子】1：富谷市立成田中学校 2：琉球コラソン U-15 3：京田辺市立大住 中学校、GHR 【女子】1：宇土市立鶴城中学校 2：浦添市立仲西中学校 3：小松市立芦 城中学校、京田辺市立田辺中学校
8月	パリ・サン＝ジェル マン ハンドボールジ ャパンツアー2025	8/19-20	東京都・渋谷区	8/19 vs ジークスター東京 (36-35) 8/20 vs 男子日本代表彗星 JAPAN (30-23) ※ 結果のみ掲載
9月	第52回全国高等専門 学校選手権大会	9/20-9/21	長崎県・ 佐世保市	1：鈴鹿高専 2：豊田高専 3：明石高専、徳山高専

10月	第79回 国民スポーツ大会	10/3-7	滋賀県・ 彦根市、 近江八幡市	【成年男子】1:佐賀県 2:千葉県 3:広島県 【成年女子】1:香川県 2:広島県 3:愛知県 【少年男子】1:福井県 2:京都府 3:岡山県 【少年女子】1:千葉県 2:京都府 3:鹿児島県
	第27回全日本ビーチ ハンドボール選手権 大会	10/25-26	愛知県・碧南市	【男子】1:BBJ 2:熱砂 3:シスター東海 【女子】1:SWAG 2:MIRALUZ 3:Thetis 東京
11月	高松宮記念杯男子第 68回女子第61回 全日本学生選手権	11/2-6	石川県・ 金沢市、白山市	【男子】1:明治大学 2:関西学院大学 3:国士舘大学、日本大学 【女子】1:大阪体育大学 2:筑波大学 3:国士舘大学、関西学院大学
	文部科学大臣杯 第23回日本車椅子 競技大会	11/15-16	徳島県・鳴門市	1:KnocküSC 新宿 A 2:大阪体大 APES- S 3:車椅子チームスポーツ Acro 4:LBH- 6 ※競技の部 I (6人制) のみ掲載
	第25回夏季デフリン ピック競技大会 東京 2025	11/15-25	東京都・ 世田谷区	1位:ロシア 2位:ドイツ 3位:フランス 7位:日本 ※順位のみ掲載
12月	第9回全日本マスター ズシニア大会	12/6-7	滋賀県・ 東近江市	順位決定は行わず、交流戦を実施した
	第77回 日本選手権大会	12/17-21	広島県・広島市	【男子】1:豊田合成 2:ジークスター東京 3:大同特殊鋼、トヨタ車体 【女子】1:ソニーコンタクトマニュファクチャリング 2:ハービー石川 3:香川銀行、大阪体育 大学 ※2025年度は、男女同時開催
	第34回 U-15 ジュニアセレクトカ ップ大会	12/26-29	長野県・ 千曲市、 上田市 他	【男子】1:群馬県選抜 2:愛知県選抜 3:福井県選抜、福岡県選抜 【女子】1:熊本県選抜、2:岡山県選抜 3:愛知県選抜、東京都選抜
2月	全日本社会人 チャレンジ 2026	2/21-23	広島県・ 広島市	【男子】1:RISE 2:宮崎フェニックス 3:レグリス大阪 【女子】1:テレフォール岡山 2:HC 宮崎 3:Glück
3月	第49回全国高等学校 選抜大会	3/24-29	大分県・ 大分市、別府市	【男子】1:浦和学院高校 2:興南高校 3:瓊浦高校、北陸高校 【女子】1:昭和学院高等学校 2:熊本 市立千原台高校 3:府立洛北高校、神 戸星城高校
3月	第21回 春の全国中学生選手 権大会	3/26-29	富山県・ 氷見市	【男子】1:GHR 2:琉球コラソン U-15 3:HC 京都、始良スポーツクラブ 【女子】1:宇土市立鶴城中学校 2:HC 京都 3:川崎生田アントハルジュニアユース、HC 春吉 Jr.

(3) その他事業

- 1) 各カテゴリー、全国・地域別の各大会における円滑な大会・競技運営のための大会役員養成並びに大会招致・運営マニュアル等の作成については継続して行っている。
- 2) 競技記録システムを含めた公式記録の運用・取扱いの手順書作成は、完成に至っていない。
- 3) 用具検定規程を含む、競技関係の規程・細則・通知など見直しも継続中である。検定印紙料の値上げに向けて、マーケティング本部と連携し、検討を始めたところである。
- 4) 競技日程調整（スケジュール）を含む、JHA 主催大会の計画・立案のための各部門（強化育成本部、マーケティング本部、関係連盟等）との連携・協力体制の構築については、強化育成本部を中心に、事務局内で調整を行っていただいている。新たな日本選手権のあり方については、2027 年度以降からの実施について検討を進めているが、予算的な面においての課題が発生し、その点が解決するまでは実施に向けての方針が示されない状況である。2026 年度大会のあり方も視野にいれながら検討を進めていく。
- 5) 国際、国内大会への JHA 関与度の向上と開催地・他部門との連携強化と国内で行う国際、国内大会の収益および集客の増加については、日本選手権を協会主導で協賛獲得から運営、会計業務まで一貫しておこなった。今後もこの方式で継続して実施していく。

## 6. 広報に関する事業

### (1) 記者会見 計4回

- 2025年5月13日 PSGジャパンツアー2025 開催発表
- 6月18日 女子日本代表 監督発表
- 7月5日 新役員体制発表 概要報告
- 11月7日 女子世界選手権 メンバー発表

### (2) メディアへの取材機会提供 15件

- 7月 男子日本代表 強化合宿（メディア公開）、女子日本代表 強化合宿（メディア公開）
- 8月 全国高等学校競技大会（インターハイ）、全国中学生ハンドボールクラブカップ2025、全国小学生ハンド大会、PSGジャパンツアー2025（ジークスター東京戦、日本代表戦）、全国中学生ハンドボール選手権大会
- 10月 国民スポーツ大会
- 11月 全日本学生選手権大会、北マケドニア代表との国際親善試合（男子日本代表）、東京2025デフリンピック（デフハンドボール）、女子世界選手権
- 12月 日本選手権大会（男女）
- 1月 男子アジア選手権
- 3月 春の全国中学生選手権、全国高等学校選抜大会

### (3) 日本代表強化合宿 メディア向け練習公開日の設定 11件

- 6月 男子ネクスト日本代表 第1回強化合宿  
男子日本代表 第1回強化合宿  
女子日本代表 第1回強化合宿
- 8月 男子日本代表 第2回強化合宿  
女子日本代表 第2回強化合宿
- 9月 デフハンドボール男子日本代表 第1回強化合宿
- 10月 男子日本代表 第3回強化合宿  
デフハンドボール男子日本代表 第1回強化合宿  
女子日本代表 第3回強化合宿
- 11月 女子日本代表 第4回強化合宿
- 12月 男子日本代表 第4回強化合宿
- 3月 男子日本代表 第5回強化合宿

### (4) プレスリリース・メディア掲載実績

- ・PR Times 配信本数 115本、合計PV 27,719 PV
- ・スポーツナビ（ニュース掲載）掲載本数 108本、合計PV 34,490 PV

### (5) SNS・デジタルメディア

1) フォロワー数推移	2024年3月末	2025年3月末	増減
JHA X	13,895人	17,338人	+3,443人
JHA Instagram	20,852人	28,977人	+8,125人
日本代表 X	16,128人	17,338人	+1,210人
日本代表 Instagram	20,110人	31,490人	+11,380人
JHA Facebook	12,126人	18,000人	+5,874人
JHA YouTube	17,447人	21,600人	+4,153人
日本代表 TikTok	1,760人	6,849人	+5,089人
合計	102,318人	141,592人	+39,274人

### 2) TikTok 2025年度累計実績 再生回数 8,470,607、いいね数 148,086

※バズりコンテンツ：大会プレー集（4月）が高校選抜 147.1万回再生、春中108.4万回再生と、各100万回超の再生を記録。

### 3) メールマガジン（MY HANDBALL ニュース）

配信回数 14回（通常号10回＋海外号4回）、配信宛先数 41,495件、平均開封率 約32%

### 4) 公式サイト実績（GA4、2026年3月時点） 全ページ表示回 2,059,529 回

- 上位コンテンツ ○試合日程・結果（高校センバツ） 599,030回
- トップページ 213,121回
- 試合日程・結果（春中ハンド） 170,376回
- 大会概要（高校センバツ） 155,309回

## 5) 放映実績

## ①テレビ放映（計3番組）

- ・NHK Eテレ 第77回日本ハンドボール選手権（男子の部）決勝
- ・BSテレ朝 PSGジャパンツアー2025 ジークスター東京戦
- ・日テレジータス PSGジャパンツアー2025 日本代表戦

## ②インターネット配信（計7大会）

日韓定期戦2025、全国中学生クラブカップ2025、全日本ビーチ選手権大会、日本選手権大会、U-15ジュニアセレクトカップ、全国高等学校選抜大会、春の全国中学生選手権大会

## 6) 協会記念誌プロジェクト

専門誌『スポーツイベント・ハンドボール』の休刊を受け、同誌編集部出身者2名を事務局内に受け入れました。あわせて、高校選抜大会および春の全国中学生大会の記録を残す「大会記念誌プロジェクト」を始動し、大会記録の継承・保存に向けた新たな取り組みを開始しました。

**7. マーケティングに関する事業**

- (1) 新規パートナーとの協賛契約獲得・内定、及びご寄付実績  
総額 2024年度 9,242万円⇒2025年度 1億2,096万円(+2,854万円)
  - ・新規オフィシャルスポンサーとの新規契約 1社、内定 1社
  - ・新規オフィシャルツーリスト 1社
  - ・ご寄付実績：法人・団体 1件、個人 1件
- (2) 全国大会における大会スポンサー獲得による競技普及の推進
  - ・全国高等専門学校大会においてスポンサー獲得に成功し、大会運営および競技の盛り上げに貢献
- (3) ビーチハンドボールに紐付く社会貢献活動を通じた協賛形態の創出
  - ・ビーチハンドボール日本選手権大会へのスポンサー獲得に成功、協賛企業と協業で社会貢献活動を実施（JOCとのマーケティング連携の一環）
- (4) パートナー企業に対する関心の高い事業へ共同参画出来る機会の創出
  - ・育成年代への支援を通じた社名露出機会の創出（2024年度事業より2025年12月まで継続）
- (5) 大会を活気づける物販ブースの設置
  - ・全国中学生クラブカップ 4社
  - ・全国高等学校学校選抜大会 7社
  - ・日本選手権大会 3社
- (6) MY HANDBALL 機能を用いた利用者にとって有益と思われる情報の提供
  - ・MY HANDBALL登録者に対して、協賛社様のクーポン発行や商品の案内等を配信することで、協賛メリットの拡充を図った。
- (7) 既存パートナー社の権利履行
  - ・主要大会での協賛社ロゴ掲出やPRブース展開等の権利履行を実施
  - ・ホームページ、ニュースリリース等での協賛社ロゴ掲出や指定先へのリンク
- (8) 旅行会社登録制度の運用と次年度選定  
オフィシャルツーリスト 3社による大会運用実施

## 8. 総務に関する事業

### (1) 諸会議の開催

- 1) 評議員会 2025年6月22日定時評議員会、新評議員会
- 2) 理事会 4月10日臨時理事会、4月19日臨時理事会、5月10日臨時理事会、6月7日第1回理事会、7月5日臨時理事会、7月22日臨時理事会（書面）、11月15日第2回理事会、2月14日第3回理事会、
- 3) 常務理事会 5月10日、9月6日、10月18日、12月13日、1月10日、3月14日
- 4) 全国理事長会 10月19日、2月15日

### (2) ガバナンスコード審査実施。

### (3) 規程の改訂および新設

#### 1) 改訂

- ①理事会運営規程及び常務理事会運営規程の改訂
- ②日本代表選手・監督・コーチの選考・選任等に関する規程
- ③日本代表チーム海外派遣等の規程
- ④日本代表チーム監督・コーチとの契約等の規程
- ⑤日本代表活動派遣規程
- ⑥契約競技者経費取扱規程
- ⑦報奨金規程
- ⑧内部通報制度運用規程
- ⑨役員候補者選考委員会規程
- ⑩コンプライアンス規程
- ⑪加盟団体規程

#### 2) 新設

- ①特別指定選手制度規程の新設

### (4) ガバナンスコード対応

- ・人材育成基本方針新設
- ・財務の健全性確保策新設

## 9. 財務・会計に関する事項

経常収益は、受取会費が前年度比 600 万円増加の 3 億 2, 100 万円、前年度 JHA 事業として開催したパリ・サン＝ジェルマンジャパンツアーが、JHA 事業でなかったことにより入場料収入やマーケティング収入等が減少し、事業収益が前年度比 1 億 2, 700 万円減少の 2 億 3, 300 万円、受取補助金等は日本オリンピック委員会からの補助金の減少により、前年度比 2, 200 万円減少の 1 億 7, 400 万円となり、経常収益は前年度比 1 億 8, 100 万円減少の 7 億 4, 100 万円となった。経常費用は、パリ・サン＝ジェルマンジャパンツアーが JHA 事業でなくなったため委託費、支払手数料等が減少、前年度比 2 億 7, 400 万円減少の 7 億 3, 200 万円となった。その結果、当期経常増減額は、前年度比 9, 300 万円増加の 900 万円となった。また、特定資産については、期中の増減なく前期末残高と同額の当期末残高 3, 100 万円となった。

## 10. 国際に関する事業

### (1) 日本代表チーム・役員・審判員等の派遣及び国際審判員の招聘とIHF指導者資格取得に関する事業

日程	カテゴリー/参加者	大会名称	開催地
5月	審判（田中・横田）ペア ※AHF審判員資格取得コース	コンチネンタル レフェリーコース	ウズベキスタン
	TD（仲田稔氏）	第10回男女ビーチハンドボール アジア選手権	オマーン
6月	男子ジュニア	第25回男子ジュニア世界選手権	ポーランド
	審判（古川・村田ペア）		
	男女代表	日韓定期戦	韓国
	国際審判員候補 ラモン・ガレーゴ氏	トップレフェリー研修会	日本
7月	女子ユース	第11回女子ユースアジア選手権	中国
	TD（仲田稔氏）		
	審判（古川・村田ペア） ※男子ジュニアWCを優先、辞退	第1回男子（U-17）アジア選手権	ヨルダン
	国内コーチ資格3、4取得者 海外受験資格保有者	IHF Bライセンス取得コース	日本
8月	男子ユース	第11回男子ユース世界選手権	エジプト
	女子ジュニア	第18回女子ジュニアアジア選手権	ウズベキスタン
9月	審判（古川・村田）ペア ※男子(U17)WCと重複、辞退	第3回アジアユースゲームズ	バーレーン
	TD（佐久間克彦氏）		
	TD（仲田稔氏）		
	審判（田中・横田）ペア ※業務の都合で辞退	第1回男子U-17アジア選手権	ヨルダン
	TD（仲田稔氏）		
10月	審判（古川・村田ペア）	第1回男子（U-17）世界選手権	モロッコ
11月	国際審判ペアの招聘 ・Hussain Almawt (BRN) ・Samer Marhoon (BRN) ・Bon-ok KOO (KOR) ・Chang Hwan CHA (KOR) ※IHF、AHFに任命・派遣を依頼	Tokyo 2020 デフリンピック	日本
	女子代表	第27回女子世界選手権	オランダ、 ドイツ
	Analyst（山田永子氏）		
1月	審判（古川・村田ペア）	第22回男子アジア選手権	バーレーン
	TD（仲田稔氏）		

### (2) 国際会議等ならびに派遣に関する事業

#### 1) 国際ハンドボール連盟（以下、IHF）関係

- ・IHF総会、理事会などの参加手続きと議題及び議事録の翻訳作業を実施。
- ・第25回男子ジュニア世界選手権、第11回男子ユース世界選手権、第27回女子世界選手権の各代表チームとTD、審判員の派遣業務の連絡調整を実施。
- ・2025東京デフリンピックへの国際審判員招聘とIHF、AHFとの連絡調整を実施。
- ・IHF指導者資格取得コースの開催準備と運営サポートを実施。
- ・国際審判員の資格取得コースの参加手続きを実施
- ・IHF役員改選と委員会委員の任命にかかわる書類作成と事務手続きを実施。
- ・選手の国際移籍事務手続きを実施し、事務管理手数料を回収した。

- 2) アジアハンドボール連盟（以下、AHF）関係
  - ・AHF総会、理事会などの参加手続きと議題及び議事録の翻訳作業を実施。
  - ・第18回女子ジュニアアジア選手権、第11回女子ユースアジア選手権、第22回男子アジア選手権の各代表チームとTD、審判員の派遣業務の連絡調整を実施。
  - ・AHF審判員の資格取得コースの参加手続きを実施。
  - ・渡辺名誉会長のAHF第一副会長と佐久間医事委員長長の就任に関する事務手続きを実施。
  - ・AHF医事委員会の活動報告書提出のサポートを実施。
  - ・アジア選手権の開催時期変更への対応。
  - ・大陸連盟内の選手の移籍手続きを実施し、移籍管理手数料を回収した。
- 3) その他の事業
  - ①国際競技力向上を目的とし、全ての国際大会への手続きを事務局の国際対応機能を中心として対応。  
出場権を得た大会にチームを滞りない派遣と関連する諸外国等機関との連携強化を実施。
  - ②IHF、AHFおよび諸外国との関係強化および連携を目的とし、IHF/AHF総会等へ出席。  
国際的動静を把握し、各国際交渉の素地の形成に向けた機能強化が図れた。
  - ③JOC各種ミーティングに参加し、国際力強化を図った。  
情報交換をすることで各NFとの連携強化を確認し、国際力向上の機能強化を推進。
  - ④JOC国際人養成アカデミー（JISLA）の受講助成制度を構築し、2024年度から助成を開始。
  - ⑤IHF及びAHFの依頼を受け、アジア地域のIHF指導者資格コースの開催準備と運営のサポートを実施。
  - ⑥大陸審判員の資格取得コースの参加者の派遣事務手続きを実施し、資格取得のサポート。  
また、助成金を申請することで派遣にかかわる費用の3分の2を獲得。
  - ⑦リーグHのプレーオフに合わせて元IHF審判長のラモン・ガレーゴをトップフェリー研修会の講師として招聘。

## 1 1. コンプライアンスに関する事項

- (1) コンプライアンス規程の改訂に着手  
ガバナンス体制の見直しに伴い、コンプライアンス規程の改訂に着手
- (2) 内部通報窓口受付件数  
新規内部通報受付：9件  
累積継続案件：4件
- (3) コンプライアンス委員会@オンライン 2回開催  
2025年12月8日、2026年1月30日
- (4) コンプライアンスに関する对外公表事案  
なし
- (5) コンプライアンス委員に弁護士を追加

## 1 2. アンチ・ドーピングに関する事項

- (1) アンチ・ドーピング検査（NFR派遣）の実施  
公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（JADA）と協力し、ドーピング検査（競技会検査）時に競技団体代表者（NFR）の派遣を実施。  
第77回日本選手権大会 2025年12月17日～21日@広島県中区スポーツセンター  
NFR：2名派遣  
※ アンチ・ドーピングアウトリーチ活動はインテグリティ推進委員会にて実施)

### 13. スポーツ・インテグリティに関する事項

#### (1) 総括

2025年度は強化本部の活動だけでなく、各本部、加盟団体も交えてJHAインテグリティ推進委員会として組織を挙げての活動を実施しました。

各本部が計画立案した事業計画に対する計画実行サポート（教材提供、講師紹介、進捗管理等）として、政府機関、専門機関（JOC、JSC、スポーツ庁、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構、JSP0、JADA、WADA）と連携し、各々の持つ組織課題に向き合うべく活動を実施しました。

#### (2) 強化本部（代表選手強化におけるインテグリティ教育）

- ・JHA行動規範、医事委員会によるアンチ・ドーピング研修、JOC提供プログラム（派遣前手続時）

#### (3) オリンピック強化指定選手向けオンライン研修（派遣前手続時/アジア競技大会前）

- ・JOC派遣前手続研修プログラム 2026年3月16日 男子代表選手5名、スタッフ6名  
3月18日 男子代表選手15名

#### (4) NF個別プログラム@ANTC

男子代表	9月27日	日本代表としての行動規範	選手・スタッフ	計28名
	10月27日	日本代表としての行動規範	選手・スタッフ	計28名
	1月2日	日本代表としての行動規範、アンチ・ドーピング研修	選手・スタッフ	計26名
	3月16日	日本代表としての行動規範	選手・スタッフ	計22名
女子代表	10月22日	日本代表としての行動規範	選手・スタッフ	計24名
	10月25日	アンチ・ドーピング研修	選手・スタッフ	計24名
	3月28日	日本代表としての行動規範	選手・スタッフ	計28名 ※ネクスト

#### (5) アンダー代表選手他へのJOCによる研修（動画教材、研修マニュアルなどを用いた研修）@ANTC

男子U-21	6月8日	日本代表としての行動規範、アンチ・ドーピング研修	選手・スタッフ	計26名
男子U-19	7月10日	日本代表としての行動規範、アンチ・ドーピング研修	選手・スタッフ	計28名
女子U-20	7月19日	日本代表としての行動規範、アンチ・ドーピング研修	選手・スタッフ	計24名
女子U-18	6月26日	日本代表としての行動規範	選手・スタッフ	計26名
	6月27日	アンチ・ドーピング教育	選手・スタッフ	計26名
デフ代表	8月9日	日本代表としての行動規範、アンチ・ドーピング教育	選手・スタッフ	計21名
ビーチ	10月26日	アンチ・ドーピング教育アウトリーチ活動@愛知県		

#### (6) 加盟団体の取り組み

##### 1) 全日本学生ハンドボール連盟

11月2日 インテグリティ研修（外部講師）@石川県（全日本学生選手権大会代表者会議）  
参加大学選手、スタッフ、関係者にリーフレット、クリーンアスリートガイドを配布

##### 2) 全国高等学校体育連盟ハンドボール専門部

①8月2日 「体罰防止」「NO! スポハラ」に関するリーフレットを配布  
@岡山県（全国高校選手権大会代表者会議）

②8月25日 クリーンスポーツについて、インテグリティ教育（日韓中ジュニア交流）@ANTC

③3月24日～25日 「体罰防止」「NO! スポハラ」に関するリーフレットを配布  
@大分県（全国高校選抜大会代表者会議）

##### 3) 日本中学校体育連盟ハンドボール競技部、中学生専門委員会

①8月5日 インテグリティ関連リーフレットを配布  
@岩手県（全国中学生クラブカップ代表者会議）

②8月22日 インテグリティ関連リーフレットを配布@沖縄県（全国中学校大会代表者会議）

③12月25日 アンチ・ドーピングオンライン研修  
@長野県（ジュニアセレクトカップ代表者会議）

併せてリーフレットを配布

④3月25日 アンチ・ドーピングオンライン研修@富山県（春の全国中学生大会代表者会議）  
併せてリーフレットを配布

- 4) 小学生専門委員会
  - ①6月2日 小学生専門委員会指導指針のチラシを配布
  - ②7月30日 アンチ・ドーピング教育@京都府（全国小学生大会代表者会議）
  - ③11月7日～2月29日 小学生ハンドボール活動満足度調査実施  
全国の小学生選手・保護者向けアンケート 1,169名回答 指導内容など70%近くの改善傾向
- 5) 指導普及・発掘育成
  - ①NTA、NTS、Jスター向け冊子「未来の君たちへ」記載
    - ・ハンドボール選手としての3つの心構え
    - ・ドーピングについて
- 6) 指導者向け
  - ①「指導者の役割と責任」（90分）を実施@公認スタートコーチ養成講習会  
全国25都道府県、2学連（6/11～1/28）で合計399名の指導者が受講（2024年度は325名）
  - ②「スポーツ・インテグリティ」（120分）を実施@公認コーチ3養成講習会
    - ・6月28日～25日（東京）受講者73名
    - ・2月14日～18日（東京）受講者59名
- 7) アンチ・ドーピングアウトリーチ活動（活動ブース設定）
  - ①8月3～5日 2名派遣@岡山県（全国高校選手権大会）
  - ②8月5～7日 1名派遣@岩手県（全国中学生クラブカップ）
  - ③8月22～24日 2名派遣@沖縄県（全国中学校選手権）
  - ④10月26日 1名派遣@愛知県（全日本ビーチ選手権）
  - ⑤11月3日～5日 1名派遣@石川県（全日本学生選手権）
  - ⑥12月16日～18日 1名派遣@広島県（日本選手権）
  - ⑦3月23日～26日 3名派遣@大分県（全国高校選抜大会）

#### 1 4. アスリート委員会

- (1) アスリート委員会の基本方針ならびに役割・活動内容  
選手の権利と安全を守り、クリーンで公正な競技環境の確立を図ります。  
あわせて、アスリートの声を競技運営に反映し、国内外との連携を通じて、ハンドボール競技の継続的な改善と普及・発展を推進します。
- (2) 基本方針  
以下の基本事業に関しその内容を明確にすることを基本方針とします。
  - ・クリーンなアスリートを守り、支援する活動に関すること。
  - ・アスリートの立場による意見を常務理事会および理事会に提案すること。
  - ・提案内容の検討状況を定期的に確認すること。
  - ・アスリートの権利権益の保護が図られるよう支援に資する活動を展開すること。
  - ・国際オリンピック委員会、アジア・オリンピック評議会、各国・地域オリンピック委員会等の各アスリート委員会等との連携及び連絡調整に関すること。
  - ・その他関連する事業に関すること。
- (3) 主な実施事業
  - 1) スポーツ外交推進事業におけるハンドボール寄贈に係る引渡式への元日本代表選手派遣  
外務省からの要請を受け、モルディブへのハンドボール寄贈引渡式へ出席する元日本代表選手の人選を行いました。派遣者には、引渡式への参加に加え、モルディブハンドボール協会の訪問、現地練習の視察ならびに必要な応じた技術指導等を依頼、その様子を SNS で発信しました。
  - 2) JOC/NF アスリート委員会合同ミーティング
    - ・AINAGOC アスリート委員会活動報告
    - ・JOC アスリート委員会活動紹介
    - ・IOC 国際アスリートフォーラム参加報告
    - ・OCA アスリートフォーラム参加報告
    - ・NF アスリート委員会事例紹介
    - ・アスリート委員会参加者との意見交換

事業報告に係る附属明細書  
記載すべき事項はありません。

以上